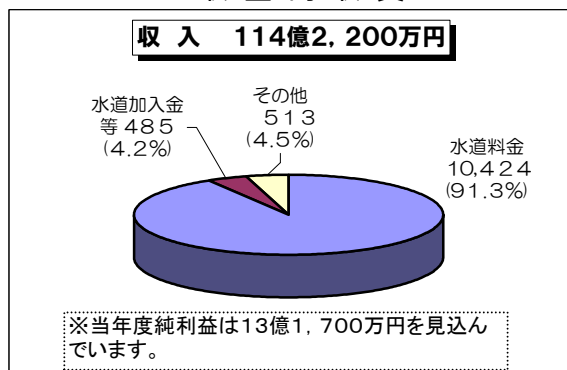
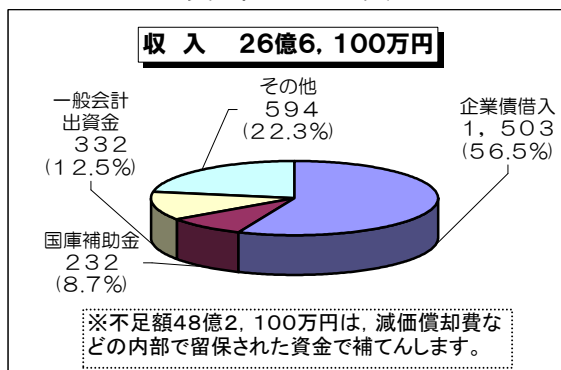


1. 平成19年度水道事業の予算 (税込み, 単位: 百万円)

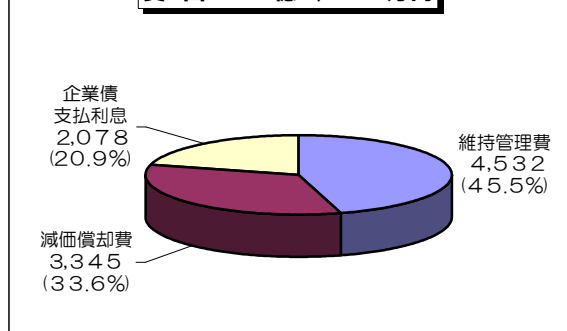
収益的収支



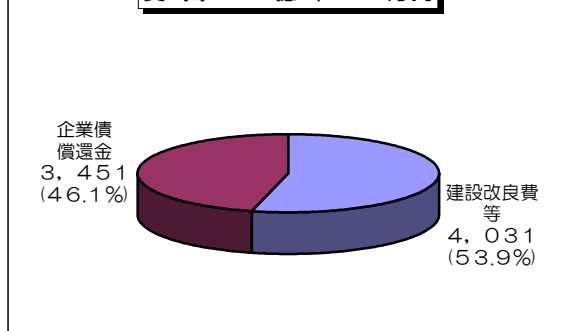
資本的収支



支出 99億5,500万円



支出 74億8,200万円



2. 平成19年度水道事業の主な取り組み

近年の水需要の伸び悩みにより、今後の経営状況が厳しくなっていくことから、第2次財政構造改革計画に基づいた計画的な経費削減を行いながら、「経営戦略プラン」により事業の優先度を考慮しながら取り組む。

■ 顧客重視

- 顧客ニーズを反映させた水道料金制度を実現するため、料金体系を見直し、平成19年4月から平均3.19%の値下げを行う。
- 顧客満足度の向上を図るため、イベントの開催や広報紙の発行など、広報広聴活動を推進する。

■ 安心給水

- 安心安全な水道水を供給するため、水質試験機器の整備を進めるほか、老朽配水管の布設替えや漏水防止のための漏水調査を強化する。

■ 環境保全

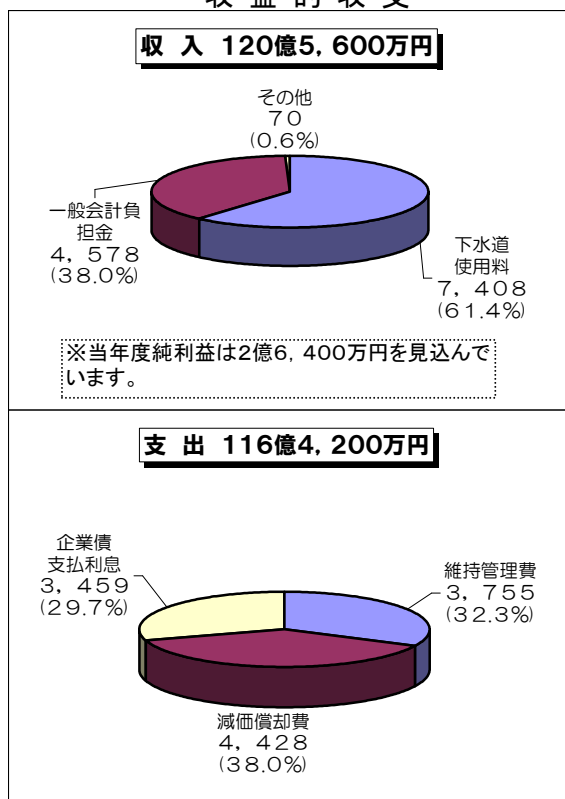
- 水道事業における環境への負荷低減を図るため、浄水場に太陽光発電設備を設置するほか、送水管を活用した小水力発電設備の実施設計を行う。

■ 信頼経営

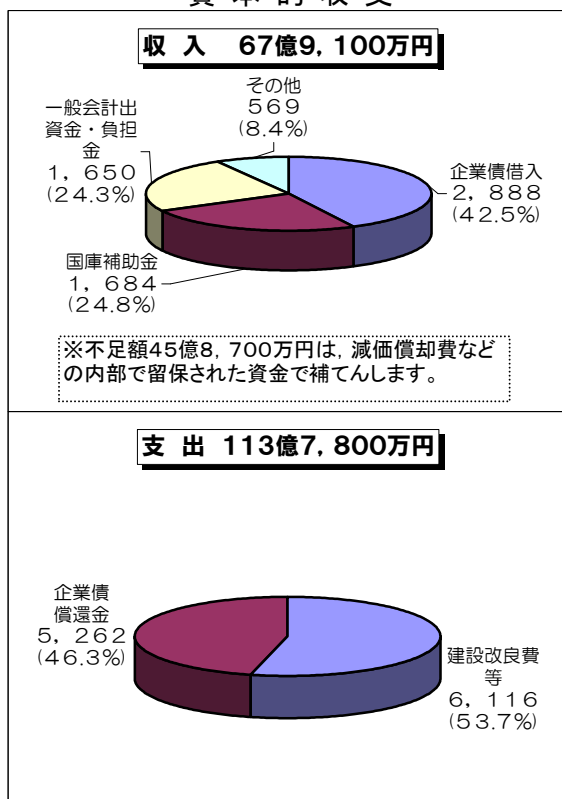
- 経営基盤を強化するため、財政構造改革に取り組み、人件費や企業債支払利息を抑制するほか、外部委託化を推進し、職員定数の削減を図る。
- 危機管理能力を強化するため、白沢浄水場及び松田新田浄水場の配水池を築造し、貯水量の増量と耐震化を図る。

3. 平成19年度下水道事業の予算 (税込み, 単位: 百万円)

収益的収支



資本的収支



4. 平成19年度下水道事業の主な取り組み

下水道整備区域の拡大により接続戸数は増加しているものの、1戸あたりの排水量が伸び悩み、今後の経営状況が厳しくなっていくことから、財政構造改革計画に基づいた計画的な経費削減を行いながら、「経営戦略プラン」により事業の優先度を考慮しながら取り組む。

■ 顧客重視

- 顧客満足度の向上を図るため、イベントの開催や広報紙の発行など、広報広聴活動を推進する。

■ 適正処理

- 下水処理の最適化を図るため、合流式下水道の吐け口に、きょう雑物の流出を削減するスクリーンを設置する。
- 雨水対策を推進するため、市街化区域全体を雨水貯留浸透施設設置の補助対象区域としているが、PRの強化などにより、さらに設置件数の増加を図る。
- 施設を適正に管理するため、「老朽管渠改築更新計画」を策定するほか、水再生センター内の老朽設備を計画的に更新する。

■ 環境保全

- 下水処理において発生する汚泥を建設工事材料（溶融スラグ）として再利用するため、栃木県下水道資源化工場の共同事業に参画する。

■ 信頼経営

- 経営基盤を強化するため、財政構造改革に取り組み、人件費や企業債支払利息を抑制するほか、外部委託化を推進し、職員定数の削減を図る。